

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 平成28年11月29日(火)
会議時間 9時59分開会 10時25分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長 : 中島里司
副委員長 : 安田 薫
委 員 : 高橋政悦、奥秋康子、西山輝和
議 長 : 加来良明
- 4 事務局 事務局長 : 佐藤秀美、係長 : 宇都宮学
- 5 説明員 副町長 : 金田正樹、
総務課長 小笠原清隆、総務課長補佐 本田雅彦、行政管理係長 青沼博信
- 6 議 件
(1) 平成28年 第7回定例会の運営について
① 予定議案等(町・議会)の説明

② 審議方法等について確認

③ 会期日程の確認

④ 陳情・請願・意見書等について
・「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」について
・「大雨災害に関する意見書」について
・「JR北海道への経営支援を求める意見書」について

(2) その他
- 7 会議内容 別紙のとおり

(1) 平成28年第7回定例会の運営について

委員長（中島里司）：ただいまから本日の議会運営委員会を開会する。

①予算議案等（町・議会）の確認

委員長：①予算議案等は既に送付されているが、内容等の変更、追加、取り止めがあれば副町長から説明をお願いします。

副町長（金田正樹）：議案の訂正2件について説明する。1点目は、議案第100号、下水道事業会計補正予算（第5号）について、「下水道事業収益」であるべきところの「下」の1文字が抜けており「水道事業収益」となっているので訂正させていただきたい。もう1点は、議案第95号、清水町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について、12月1日の議案の事前送付後、国の規則等が改正され、これに準じた改正に合わせるため1部を訂正させていただきたい。この訂正の2点については開会前に該当部分の差し替えをお願いします。

次に、追加案件の2件について説明する。先ほど説明した清水町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、職員の育児休業等に関する条例の一部改正が必要になったことから追加議案として提案をする。もう1点は、12月2日、橋の崩落により通行止めをしている新錦橋につながる町道に男性が運転する車が転落するという事故が起きた件の行政報告の追加。

この他、現在、災害による国の査定が始まった。状況によっては工事費の予算措置や先程の行政報告関係の費用などの新たな予算案件があると思うが、その都度、議長・委員長と相談をしながら進める。

委員長：続いて、議会提案の変更・追加等について事務局長をお願いします。

佐藤局長：前回の議会運営委員会以降追加のあった2件について説明する。1点目は、委員会の報告関係。議会活性化特別委員会を6月に設置してから今まで調査を行ってきたが、これまでの調査状況について中間報告を行うことになったので、委員会調査の報告として中間報告を行う。もう1点は、先日の全員協議会で確認を行ったが議会活性化特別委員会の中で協議をしてきた常任委員会の所管について、総務産業常任委員会、厚生文教常任委員会に改正することになったので、12月定例議会に清水町議会委員会条例の一部改正を提案したいとのこと。

委員長：ただいま、執行側と議会側からそれぞれ説明があった。特に質疑があれば受ける。

（なしの声あり）

②一般質問の確認

委員長：一般質問の確認を行う。一般質問について9名、19項目の通告があった。ただいま一般質問事項を配付した。若干の休憩を取るのので、内容のご一読をお願いします。

【休憩 14:08】

（一般質問事項の確認）

【再開 14:13】

委員長：ご一読いただき、文面等について何か意見があれば受けたい。

高橋委員：通告の受付の際に議長が審査したと思うが、口田議員と原議員の1項目目の内容が同じような気がするのご検討いただきたい。

委員長：一般質問の受付の際に議長においてご指摘をされていると思う。もし差し支えなければ説明いただきたい。

加来議長：一般質問を受ける際に口田議員の質問と重なる部分があるのではというところは同じ疑問を持ち、原議員と協議をした。「安心安全と子どもたちの未来のためのまちづくり」という観点で、まちづくりについての検証をしたいとのことであったので、質疑について重なることがないようにということを了承いただき受付をした。

委員長：タイトルは違うが、質問内容が重なると、町民が見たら同じことを聞いているのではということに

なるので、十分配慮をいただきたいと思う。

加来議長：口田議員の一般質問内容も原議員に見ていただいて確認している。その上で重複しないように了承いただいて受付をした。

高橋委員：それから、桜井議員の1項目目の質問と鈴木議員の2項目目の質問についても重なる部分があるが、本人に説明し納得いただいているのか。

加来議長：桜井議員については農地の復旧に対する支援をする視点。鈴木議員については、営農という広い視点で、どう支援していくかという視点。重ならないようにということは鈴木議員には桜井議員の一般質問内容を見てもらって確認している。

委員長：高橋委員から2点質疑があったが、聞いている方々が同じ質問と思われることが懸念される。質問をささげるものではないが、議長のほうから何らかの形で質問者に対して特段の配慮を期待する。チラシ折込により住民に周知することから、一般質問日程の割り振りを行う。12月15日を5名、16日を4名にしたいが、よろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：そのように決定する。

その他に何かあるか。

(なしの声あり)

③審議方法及び審議日程の決定

委員長：次に、審議方法及び審議日程の決定についてお諮りする。審議日程については配付してある付議予定議件により、審査月日等を順に確認・決定していく。また、執行側から十勝圏複合事務組合の関係で全員協議会の開催申し出が予定されている。この2点についてまとめて事務局長から説明をお願いする。

佐藤局長：(別紙 付議予定議件についての説明)

条例改正 12月20日の本会議

補正予算 12月13日の本会議

その他の議案 行政報告 12月13日の本会議、指定管理者の指定 12月13日の本会議。

議会関係 9名19項目の一般質問、12月15日(5名)、16日(4名)の本会議、議員提出議案として議会委員会条例の一部改正 12月20日、意見書を提出することになれば12月20日、委員会調査の報告として議会活性化特別委員会調査中間報と各常任委員会のからの所管事務調査報告は、12月13日。

会期中に提出が予定されるものについては、先程執行側から説明のあった職員の育児休業等に関する条例の一部改正は12月20日、追加の行政報告は、12月13日の報告の予定。

全員協議会については、十勝圏複合事務組合と十勝環境複合事務組合についての説明したいということで、執行側から事前に話しが来ている。それから、議会側においても意見案等の協議のために開催する必要がある。全員協議会の予定としては12月16日の本会議終了後に開催する予定。

委員長：日程について局長から説明をもらった。今の日程にご意見があれば受ける。

(ありませんの声あり)

委員長：審議日程についてはただいまの説明のとおり決定する。

④会期の決定について

委員長：会期の決定について諮る。今、審議してもらった結果、12月13日から12月20日までの8日間と決定をさせてもらいたいと思うが、異議はないか。

(異議なしの声あり)

委員長：会期についてもこのように決定する。

執行側には出席のお礼を申し上げます。退席をお願いする。

【休憩 14:28】

(執行側退席)

【再開 14:28】

(2) その他

・「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」について

委員長：その他についてだが、道議長会から要請のあった「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」について、議会運営委員会で協議をすることになっているが、議題としたい。資料の準備のため休憩する。

【休憩 14:31】

(資料の準備)

【再開 14:40】

委員長：再開する。意見書の案と、地方議会議員の年金をめぐる動きの資料を配付した。これらを踏まえて、皆さんの意見を聞きたい。

高橋委員：地方議会議員の厚生年金制度を求める意見書の理由は人材確保のため明言されているが、そもそも厚生年金制度自体が不透明なこともあり、実際掛けたからといって受給できるのか、今の若い人たちは不安に思っている。国民年金以外で更に厚生年金を掛けるだけになんの魅力があって議員の人材が確保できるかといったら、全くナンセンスで、意見書を出すべきでないと思う。

奥秋委員：考え方は高橋委員と同じ。

佐藤局長：帰りに執行側から全員協議会の件で話があった。29日、決算の関係を予定しているが、これから執行側でも災害見舞金等を調整していく予定で、もしまとまれば全員協議会の中で説明したいとのことだった。まとまらなければ10月3、4日の決算の後の全員協議会もありえる。見舞金は補正予算等も絡んでくるので、事前に説明したい。

委員長：これらについては、聞き置くということよろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：本日の議会運営委員会を閉じる。